

西表国立公園の公園計画の変更について

1. 変更の理由

石垣島と西表島の間広がる海域に位置する石西礁湖は、我が国最大規模のサンゴ礁地帯であり、世界的にも貴重なサンゴ礁の1つとされている。この海域は、サンゴ群集を含む海中生物の織りなす多彩な景観が優れており、海域普通地域に指定されている他、4つの海中公園地区が指定されている。しかし、石西礁湖のサンゴ礁生態系は、オニヒトデの大量発生、赤土の流出等による陸域からの環境負荷及び海水温の上昇に起因する白化現象等により大規模な被害を受け、国立公園指定時に比べ大きく衰退しているのが現状である。

このため、石西礁湖においては、サンゴ群集をはじめとするサンゴ礁生態系の自然再生を図るため、自然再生推進計画調査を実施し、自然環境の現況とその変化、その変化を引き起こす要因として考えられる物理的及び社会的要素、効果的な修復手法等の把握に努めてきている。その結果、実用的な手法として、有性生殖による繁殖プロセスを利用したサンゴ群集の修復技術の導入が提案された。今後は、この手法を用いた本格的なサンゴ群集修復事業を緊急に実施するとともに、さらに調査等を進めて再生・管理手法等を検討し、石西礁湖自然再生推進計画を策定する予定である。

以上のような状況を踏まえ、石西礁湖のサンゴ群集をはじめとするサンゴ礁生態系を保全・再生するため、公園計画を変更する。



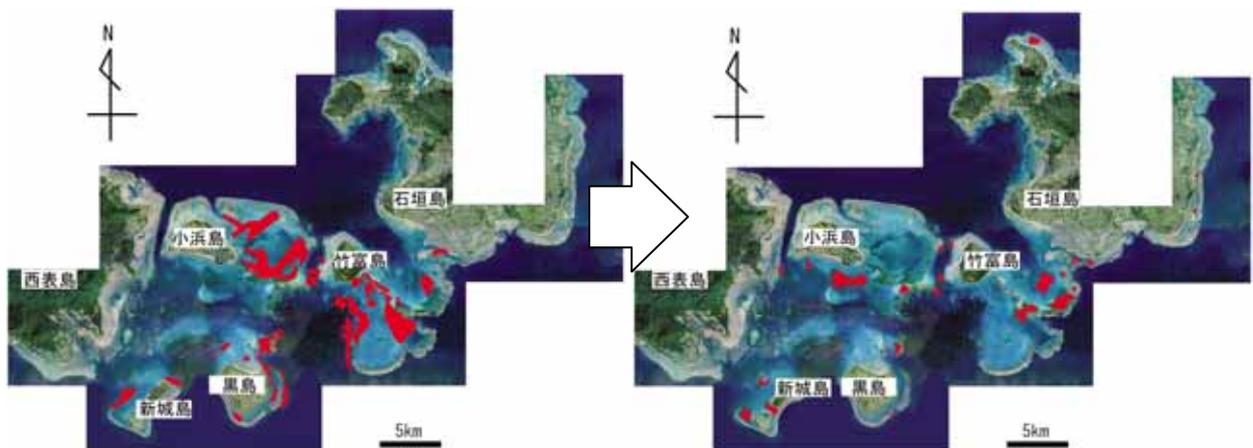
多様なサンゴや魚類が
生息・生育している



枝状サンゴの死滅



オニヒトデによる食害



公園指定当時の枝状ミドリイシ高被度地域

2003年の枝状ミドリイシ高被度地域

図中の赤地域：枝状ミドリイシ高被度地域

2. 変更案の概要

(1) 自然再生施設の追加

石西礁湖については、自然再生推進計画調査によって提案された本格的なサンゴ群集修復事業を実施するため、地域住民及び関係行政機関等と調整を図り、自然再生施設を公園計画に位置付け、積極的にサンゴ礁生態系の保全・再生を図る。またその際には、自然の回復力及び自然自らの再生プロセスを人間が手助けする形で自然の再生・修復を積極的に進めることとする。

・自然再生施設 沖縄県石垣市及び八重山郡竹富町地先海面（石西礁湖）

具体的には、サンゴ群集を修復するため、一斉産卵時に発生したサンゴの幼生を利用した放流・移植及び着生誘導の手法を用いた着床具の設置等を想定している。



着床具の設置



移植した種苗



着床具



着床具種苗の移植方法

・自然の一斉産卵を利用し、着床具に定着させた稚サンゴを利用した修復手法

3. 参考ホームページ

石西礁湖における自然再生に向けた取り組み等について紹介している。

石西礁湖自然再生 <http://www.coremoc.go.jp/saisei/top.htm>